



未成年者を飲酒の害から守るための社会的対策を知ろう！

未成年者飲酒禁止法ってどんな法律だろう？

20歳未満は飲酒することを禁止した法律です。

未成年者飲酒禁止法(抜粋)

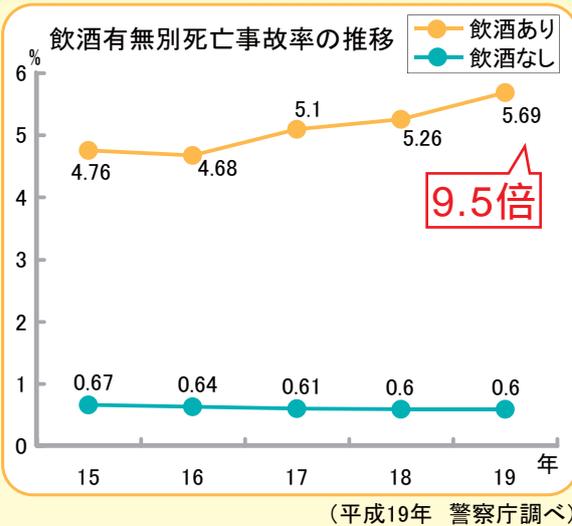
大正11年3月30日法律第二十号
最終改正 平成13年12月12日法律第一五二号

- 第1条 満20年に至らざる者は酒類を飲用することを得ず
- 2 未成年者に対して親権を行ふ者若は親権者に代りて之を監督する者未成年者の飲酒を知りたる時は之を制止すへし
 - 3 営業者にして其の業態上酒類を販売又は供与する者は満20年に至らざる者の飲用に供することを知りて酒類を販売又は供与することを得ず
 - 4 営業者にして其の業態上酒類を販売又は供与する者は満20年に至らざる者の飲酒の防止に資する為年齢の確認其の他の必要なる措置を講ずるものとす
- 第2条 満20年に至らざる者が其の飲用に供する目的を以て所有又は所持する酒類及其の器具は行政の処分を以て之を没収し又は廃棄其の他の必要なる処置を為さしむることを得ず
- 第3条 第1条第3項の規定に違反したる者は50万円以下の罰金に処す
- 2 第1条第2項の規定に違反したる者は料りに処す

飲酒運転の危険

平成18年8月に福岡県で幼児3人が死亡する飲酒運転事故が発生するなど、飲酒運転による悲惨な事故が後を絶たない状況です。そのため、飲酒運転に対する罰則が平成19年9月に厳しくなりました。

column



飲酒運転をした場合は、飲酒していなかった場合と比較して死亡事故率(事故を起こした中で死亡事故となった割合)が9.5倍です。

年齢確認実施中！

国税庁が中心となって作成したポスターです。コンビニエンスストア等に掲示され、未成年者の飲酒防止を広く呼びかけています。





喫煙、飲酒 Q & A

Q1 未成年者は、なぜ、たばこを吸ったり、アルコールを飲んではいけないのですか？

A 心と体が成長の途中にある未成年者は大人よりたばこやアルコールの悪い影響を受けやすいからです。
たばこやアルコールは脳の働きや体力・運動能力を低下させます。たばこの煙はまわりの人にも悪い影響を与えます。アルコールは理性を失わせ、飲酒運転やけんかなどをしまわりに迷惑をかけます。未成年者の喫煙、飲酒は特に害が大きいので法律で禁止して、未成年者を守っているのです。

Q2 たばこを吸うと、運動を持続する力がなくなると聞きましたが……？

A 運動を持続する力だけでなく、学習能力も低下します。
たばこを吸うと脳の働きや皮膚、胃の血液の流れが変化したり、心臓の負担が大きくなったりします。そのため、長く運動し続ける力がなくなるなど、体力も衰え、せきやたんが出たり、息切れしやすくなります。

Q3 たばこを吸っている人が、たばこをやめたいのに、やめられないのはなぜですか？

A たばこのニコチンに依存性(強い習慣性)があるからです。
たばこを吸いたいと思った時、それを抑えることができなくなってしまう。これが、ニコチン依存症です。
喫煙を続けていると、たばこがないとイライラするなどの不快な症状があらわれ、なかなかやめられなくなってしまいます。

Q4 大量飲酒(イッキ飲み)はなぜ危ないのですか？

A 意識がなくなって死亡することもあるからです。
酒の主成分であるアルコールは麻酔作用をもち、脳を麻痺させます。そして一度に大量に飲むとアルコールは胃や腸から簡単に吸収され、血液から脳に入って急性中毒を起こします。脳が麻痺して意識がうすれ、呼吸数が減少するなど様々な症状を起こして死亡することもあります。

Q5 未成年者の喫煙、飲酒を防止するための対策にはどんなことがありますか？

A 未成年者が喫煙や飲酒をしないよう未成年者喫煙禁止法や未成年者飲酒禁止法によって規制されています。
また、日本をはじめ世界の多くの国が「たばこ規制枠組条約」を結び、たばこ規制に関する取組を強化しています。



もっと詳しく知りたい人は、下のホームページを見てみましょう！
財団法人 日本学校保健会 <http://www.hokenkai.or.jp/3/3-5/3-5-frame.html>